

高静小学校 CS 通信

○コミュニティースクール発足

先日12月16日（水）に高静小学校図書室で、第一回目の学校運営協議会が開かれました。これで高静小学校もコミュニティースクール（CS）が発足したことになります。

○コミュニティースクール（CS）とは

コミュニティースクール（以下CSと省略）とは、子どもたちの健やかな成長を目指し、地域住民や保護者が学校運営に積極的に参加する仕組みのことを言います。

こうしたCSの仕組みを整えるために、地域住民や保護者の代表の方々（学校運営協議委員）と学校とが話合う場面を持たなければいけません。その話合いの場が学校運営協議会となります。

CSを一言で言うと、学校運営協議会を設置した学校ということになります。

学校運営協議会では学校運営の最終責任者である校長が学校運営の方針について説明をしていきます。それについて学校運営協議委員からアドバイスや意見を頂き、学校運営に生かしていく話合いが行われます。学校運営協議会は学校運営を支え、学校を応援してもらう役割の会議となっています。

コミュニティ・スクールのイメージ



○学校運営協議委員

今年度、学校運営協議委員をお願いしている方です。

氏名	地域での所属
原 昇 様 (会長)	こうせい町自治会長
津山 浩 様 (副会長)	高静小学校PTA会長
坪井 克彦 様	静内高校校長
工藤 しのぶ 様	児童療育相談センター所長
阿部 晃二 様	中野町1丁目自治会副会長
新井田 亨太 様	NPOこみっと職員

○CS発足で何が変わるのか

CSが発足することで以下のような変化や効果が期待されます。

児童

地域に見守られている実感を感じながら育つことができる。
今までに経験や体験ができなかった活動を行うことができる。

保護者

・子育てを自分たちだけで抱え込まずに行うことができるとともに、学校の教育に主体的に参加することができる。

地域

・地域で、子ども体を育てている実感をもつことができる。生きがいややりがいにつながる。
・防犯・防災体制等の構築ができるなど地域ネットワークがよりふかいものになる。

学校

・地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができる。
・地域人材、教材が活用しやすくなり教育活動が充実し、子どもと向き合う時間が増える。

○今後の予定

今後の予定として今年度は3学期に第2回目の学校運営協議会を行い、来年度の学校運営について話し合い、方針を決めていくことになります。

また、来年1年間をかけて高静小学校のCSの具体的な取り組みとして何ができるか学校運営協議会の中で検討していく予定です。